

平成 20 年 10 月 6 日

各 位

会社名 株式会社 京葉銀行  
代表者名 取締役頭取 小島 信夫  
(コード番号 8544 東証第一部)  
問合せ先 経営企画部長 熊谷 俊行  
(TEL. 043-222-2121)

## 平成 21 年 3 月期第 2 四半期及び通期の業績予想修正に関するお知らせ

平成 20 年 4 月 30 日に公表いたしました、平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)及び通期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の業績予想について、下記の通り修正しますのでお知らせします。

記

### 1. 個別業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(金額単位：百万円)

	経常収益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	38,000	13,000	7,500	25 円 88 銭
今回修正予想(B)	37,000	6,500	3,600	12 円 42 銭
増減額(B-A)	1,000	6,500	3,900	-
増減率(%)	2.6%	50.0%	52.0%	-
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 9 月期)	37,447	12,736	7,178	24 円 76 銭

(2) 平成 21 年 3 月期通期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(金額単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	76,000	26,000	15,000	51 円 76 銭
今回修正予想(B)	74,500	17,000	10,000	34 円 52 銭
増減額(B-A)	1,500	9,000	5,000	-
増減率(%)	1.9%	34.6%	33.3%	-
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	73,881	24,420	14,117	48 円 70 銭

## 2. 連結業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日)

(金額単位: 百万円)

	経常収益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	38,500	13,000	7,500	25 円 88 銭
今回修正予想 (B)	37,500	6,500	3,600	12 円 42 銭
増減額 (B - A)	1,000	6,500	3,900	-
増減率 (%)	2.5%	50.0%	52.0%	-
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 9 月期)	37,403	12,325	6,651	22 円 95 銭

(2) 平成 21 年 3 月期通期 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(金額単位: 百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	77,000	26,000	15,000	51 円 77 銭
今回修正予想 (B)	75,500	17,000	10,000	34 円 53 銭
増減額 (B - A)	1,500	9,000	5,000	-
増減率 (%)	1.9%	34.6%	33.3%	-
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	74,435	24,216	13,728	47 円 38 銭

## 3. 業績予想修正の理由

(1) 個別業績予想修正の理由

当行では、預金残高及び貸出金残高がいずれも年間 5% を上回る成長を遂げており、資金利益は第 2 四半期累計期間及び通期とも前年実績を上回る見込みです。このため、証券市場の低迷により投資信託販売等の役務取引等利益が大幅に減少しているものの、経常収益はほぼ計画通りとなることを見込んでおります。

しかし、景気の後退観測が強まる中、与信先の将来見通しをより保守的に見積もり、厳格な自己査定を実施した結果、予防的な貸倒償却引当費用を計上することとし、前回発表の業績予想値の修正を行うことといたしました。

なお、当行はリスクの大きい外国証券や証券化商品は保有しておりません。株式市場の低迷により、有価証券の減損処理費用が当初の予想をやや上回る見込みとなりましたが、すべて国内普通株式の減損処理によるものです。

(2) 連結業績予想修正の理由

個別業績予想の修正に伴うものです。

以上